

---

第6報 平成30年9月12日

「平成30年7月豪雨」による災害復旧資材供給情報

## 主要建設資材の供給情報



一般財団法人 経済調査会

---

このたびの西日本を中心とした記録的な豪雨により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

当会では、被災地域における主要資材の供給プラント・工場の稼働状況について、平成30年9月11日までに収集した情報をもとにとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、被災地区内（中国・四国地区）の供給プラント・工場において今回の台風第21号による影響はありませんでした。

被災地域の復旧作業の進捗により、当情報が最新情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復旧に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会

土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 主要建設資材の供給プラントの稼働状況

主要建設資材の供給プラントの稼働状況について、当会が電話などによる取材により確認した概況は以下のとおりです。

今号で情報を更新した資材は、「稼働及び供給状況」欄を赤字で表示しています。

掲載内容が前号までの情報は、「資材名称」欄にカッコ書きで提供号数を記載しています。

### 【中国地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
岡山県	生コンクリート	被災した備中地区(総社)の1工場は引き続き操業停止中、復旧の目途は未定。 その他の工場は供給に問題がなく、各地区における供給は可能な状況。
	骨材・砕石 (第4報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第4報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第2報)	通常通り稼働
広島県	生コンクリート	被災した西部地区(東広島)の残りの1工場が稼働再開し、通常通り稼働となった。
	骨材・砕石 (第4報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物	被災した北部地区1工場が稼働再開し、通常通り稼働となった。
	コンクリート二次製品 (第2報)	通常通り稼働
山口県	生コンクリート (第3報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第2報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第2報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第2報)	通常通り稼働

## 主要建設資材の供給プラントの稼働状況

### 【四国地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
徳島県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第3報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
香川県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石	坂出市内の1工場で敷地内の土砂崩れにより一部の生産設備に被害が発生していたが、8月末に設備の復旧を終え稼働を開始したため、各社通常通り稼働となった。
	アスファルト混合物 (第3報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
愛媛県	生コンクリート	大洲市内の3社3工場、西予市内の1社1工場が被災(浸水)により操業停止中となっていたが、そのうち大洲市内の1社1工場が出荷を再開した。残りの3社3工場の再開は未定。その他の工場は供給に問題がなく、各地区における供給は可能な状況。
	骨材・砕石 (第5報)	今治市島嶼部の1社は出荷を再開し、通常通り稼働。大洲市内の2社2工場のうち、1社1工場は出荷を再開。もう1社1工場も出荷を一部再開したが、全面再開の時期は未定。その他の工場は供給に問題がなく、各地区における供給は可能な状況。
	アスファルト混合物 (第5報)	大洲市内・西予市内の4社4工場のうち、大洲市内の2社2工場が被災(浸水)により操業停止となっていたが、1社1工場が出荷を再開。もう1社1工場の再開は未定。残りの2社2工場は通常通り稼働しており、地区内における供給は可能な状況。
	コンクリート二次製品	大洲市内の1工場が被災(浸水)により操業停止中となっていたが、本格稼働には至らないが出荷を一部再開した。その他の工場は供給に問題がなく、各地区における供給は可能な状況。
高知県	生コンクリート (第5報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第3報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第3報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働

## 主要建設資材の供給状況

前号までの状況に変動があった場合は、「稼働及び供給状況」に赤字で追記しています。  
掲載内容が前号までの情報は、「地域」欄にカッコ書きで提供号数を記載しています。

地域	資材名称	稼働及び供給状況
西日本	[重仮設材] 仮設鋼材 (第3報)	置場・工場への被害は発生しておらず、通常通り稼働。 道路の陥没や斜面の崩落などの被災に対応するため、道路閉鎖に使用する仮設ガードレールや落石防護柵(H形鋼、鋼矢板)の引合いが出ている。なお、1件ごとの引合い量は10tトラック1～2台程度の小規模なものとなっている模様。 深刻な被害が広域に及んでおり、今後被害の詳細が判明した後、復旧・復興を進める際には、さらに多くの重仮設鋼材が必要になるとみられる。
西日本	[軽仮設材] 土のう、ブルーシート (第2報)	主要メーカーの工場および事業所に被害はない。 被災地向けの引き合いの増加が予想されるため、メーカー・販売店では増産や国内在庫を西日本へ移動するなどの対応を開始している。现阶段で供給のひっ迫はみられない。
西日本	針葉樹構造用合板 (第3報)	メーカーの工場・倉庫、販売店各社の倉庫の被害は少なく、供給に問題はない。
西日本	建設機械賃貸料金・移動式クレーン作業料金 (第3報)	岡山県の一部業者の置場でクレーンの浸水被害があるものの、供給に問題はない。